

区分番号	要請番号	区分	要請先	取扱	新規・継続	要請事項	要請理由	備考
101	1	自動運転車	東空	-	継続	自動運転車両に関する今後の運用方法及び安全性について、開示すること	自動運転車両の性能や今後の運用方法に対する情報開示が無く、現場では不安を抱いている。そのため、全国の空港及び繁忙・複雑な東京国際空港や成田空港等の自動運転車両導入計画の情報開示が必要である。	継続要請
102	1	貨物・郵便物の安全性	東空	-	継続	航空貨物利用運送事業者や郵便事業者に対しても、航空貨物・郵便の危険品輸送に関する一般教育や安全教育訓練を十分に実施するように指導すること	航空貨物利用運送業者や郵便事業者について、国交省の総合政策局が貨物利用運送事業法に基づき輸送手順や教育訓練の実施状況を確認していただいているが、日々進化していく貨物・郵便物の安全輸送について、関係者が一丸となって航空危険物輸送の安全確保のための原因究明や再発防止策が必要である。特に運送会社、運送会社の荷物受付窓口（コンビニ等を含む）、荷主などには更なる啓蒙活動が必要である。	継続要請
102	2	貨物・郵便物の安全性	東空	-	継続	航空貨物・郵便の危険品輸送に関して、未然に無申告危険物が搬入されないような体制を構築すること	航空輸送に係る荷主に対して危険物輸送のルールをわかり易くしたが、現場では貨物・郵便物共に無申告危険物が見つかるている。	継続要請
103	1	ランプ内の環境整備	HP	-	継続	ランプ内を走行している作業車両の排気ガスが、環境省の基準を満たしているのかを調査すること	ランプ内を走行している車両が、陸運局指定のナンバープレートを取得していないと車検時に行われる排気ガスの成分検査がないので、環境基準を満たしていない可能性がある。	継続要請
104	1	東京国際空港	本東空	A	継続	手荷物を預けている・いないに関わらず、旅客出口導線を一箇所に施設構造を変更すること	旅客出口を手荷物受け取りエリア一箇所に変更することで、手荷物の受け取り忘れ事象が改善し旅客及び旅客職員の負担軽減に繋がる。現在、到着ロビーは荷物の有無で旅客導線が違う為に荷物を取り忘れた旅客が手荷物受け取りエリアへ再入場してくる事象が1日10件以上発生しており、旅客職員の作業に支障が出ている。2024年度に手荷物の無い旅客出口にフラッパーゲートが設置されたが、発生件数は変わっていない。	継続要請
104	2	東京国際空港	HP	-	継続	A TWY上のA3、A4、A6、A9への進入箇所、L TWY上のL3、L4、L6、L9への進入箇所に路面表示を施すこと	トーイングカーが頻繁に通過する誘導路における誤進入が多発している事案を受け、A TWY からA3、A4、A6、A9方面及び、L TWY からL3、L4、L6、L9方面に路面表示を施すこと。航空機と比べてトーイングカーは高さが低く特に夜間の場合は暗くて視認が困難である為、伸びた雑草が誘導案内灯の表示の視認を妨げ、誤侵入しそうになるヒヤリハットの報告がある。日頃からこの付近の草刈りを特に重点的に実施していただきたいが、合わせて路面表示を設置することで、誘導案内灯が見えない状態になった場合の代替手段にもなる。なお、路面表示の表記方法は、誘導路名と矢印は左右に併記するのではなく、前後方向が望ましい(手前に誘導路名、奥に矢印。参考：成田国際空港における路面表記)。	継続要請

104	3	東京国際空港	空	-	新規	増設される第一ターミナル(30番台付近)及び第二ターミナル(400番台付近)エリアに、各社共用で使用出来るランプサイド休憩所を新設すること	便間に風雨や気温差を凌げるだけでなく、夏場の熱中症対策や落雷発生時の緊急避難場所としての役割を担うことが出来る共用休憩所の新設は必須である。 ・福岡空港では2025年1月から16番SPOT付近のランプサイドに休憩所を新設、成田空港では夏場限定(8月～9月)でコンテナトレーラーハウスを設置して熱中症対策に役立てているなど、民間管理空港において対策が講じられていることを参考に、東京国際空港でも対策をお願いしたい。	新規要請
105	1	大阪国際空港	空	-	新規	大阪国際空港で施設改修に伴う空きスペースに南側は第1フィンガー、北側は第4フィンガーに各社共用で使用出来るランプサイド休憩所を新設すること	作業前後の待ち時間に風雨や気温差をしのげることや、夏場の熱中症対策及び落雷発生時の緊急避難場所としての役割も担える。 ・福岡空港及び成田空港に於いてはランプサイド休憩所の新設、夏場限定のコンテナトレーラーハウスを設置して熱中症対策に役立てている。 民間の管理空港がそれぞれ熱中症対策やり始めている中で、国としても何らかの対策が必要である。	新規要請
105	2	大阪国際空港	空	-	新規	空港制限区域内におけるスムーズな救急車乗り入れのあり方について	従来より救急車の搬入は企業での取り扱いとされ、スムーズな傷病者の搬送となり辛く、無駄に時間をロスして搬送が遅れる事態が見受けられる。傷病者救済を優先するならば、企業に対し速やかな制限区域内への救急車搬入となるよう指導と許可を徹底願いたい。	新規要請
105	3	大阪国際空港	空	-	新規	雨天時におけるランプ・タクシーウェイでのライン認識の明確化	雨天時とりわけ夜間におけるランプ内及びタクシーウェイでの進入ラインが見えづらく、プッシュバックにおける停止位置が認識しづらいためライン塗料材質の変更やマーカーなどの埋め込み設置を求めたい。	新規要請